

ブルーリボン生物兵器防衛委員会、生物兵器防衛に関する
初の総合的検証報告書を発表（10月28日）

ジョー・リーバーマン元上院議員 (Joe Lieberman) とトム・リッジ元国土安全保障長官 (Tom Ridge) が共同委員長を務める、超党派のブルーリボン生物兵器防衛委員会 (Blue Ribbon Study Panel on Biodefense) は 10 月 28 日、米国による過去 10 年間の生物兵器防衛への取り組みに関する総合的検証結果をまとめた初めての報告書「生物兵器防衛のための国家的青写真 ～取り組みの最適化のためにはリーダーシップと大幅改革が必要～ (A National Blueprint for Biodefense: Leadership and Major Reform Needed to Optimize Efforts)」を発表した。本報告書は、意図的な持ち込み、偶発的な放出、及び自然発生による生物学的脅威に対抗する米国の能力を強化するために、大幅な改革が必要であると訴えている。また、具体的な提案事項として、①リーダーシップを副大統領室 (Office of the Vice President) に集中、②大統領府生物兵器防衛調整委員会 (White House Biodefense Coordination Council) の設置、③州・地方公共団体・部族などによる能力の強化、④長期的な生物兵器防衛の優先順位付けと資金の拠出を通じたイノベーションの促進、などを挙げている。

なお、本報告書は、

<http://www.biodefenselibrary.org/SiteAssets/Pages/default/1425-2139_BRSP_Report_100815b%5B1%5D%5B6%5D.pdf>からダウンロード可能。

Blue Ribon Study Panel on Biodefense, Bipartisan Panel States Nation in Need of Centralized Leadership and Major Reform to Strengthen Biodefense
<http://www.biodefenselibrary.org/SiteAssets/news/BRSP%20Press%20Release%20Final%2010.28.15.docx>